

全国安全週間を迎えるにあたって

成田労働基準監督署長
居 石 和 樹

諸岡会長をはじめ、成田労働基準協会会員事業場の皆様方には、日頃より当署の業務運営につきまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年も、7月1日から7日まで全国安全週間が実施されます。

今年のスローガンは、

エイジフレンドリー職場へ！ みんなで改善 リスクの低減

です。

労働災害は、全国的にみると、労使をはじめ関係各位のご尽力により長期的には減少しているものの13次防の目標達成のためには更なる取り組みが求められていることから、事業場での自主的な安全衛生管理を推進し、職業生涯の延伸などにより大きな役割を担うようになった高齢者はもとより、全年代の労働者にとって働きやすい職場環境を整備し、労働災害防止に向けたより一層の取り組みをお願いします。

また、千葉県の労働災害も長期的には減少傾向にあるものの今年の千葉県の死亡災害は急増しており、4月末現在、前年同期比5名増の13名の方が亡くなっています。千葉労働局の調べによりますと千葉県は死亡者数全国ワースト1位となっており、極めて深刻な状況です。新型コロナウイルスによる緊急事態宣言も解除され、これから徐々に社会経済活動が活発になっていくものと思われませんが、更なる労働災害の増加が懸念される場所です。皆様方の事業場におかれましては、6月の全国安全週間の準備期間の時期に、全国安全週間実施要綱などに基づいて“今、労働災害撲滅のために何をすべきか？”ということを検討していただき、実施していただきたいと思えます。

これから暑い時期を迎えます。昨年熱中症により全国で25名の方が亡くなっており、そのうち千葉県は5名と、こちらも全国ワースト1位でした。これらの中には、事前の準備、対策等を行っていただければ防げたものもありますので、教育を含め事前の準備・対策等を十分行っていただきますようお願いいたします。

成田労働基準監督署では、引き続き皆様とともに、労働者が安心して、安全に働くことのできる職場づくりを目指しており、その実現のためには、貴協会の各事業場、そして職場の第一線で活躍されている皆様方のご協力が不可欠でありますので、今後とも、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、成田労働基準協会並びに会員事業場の益々のご発展を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

労働災害撲滅に向けて、ともに取り組んでいきましょう！